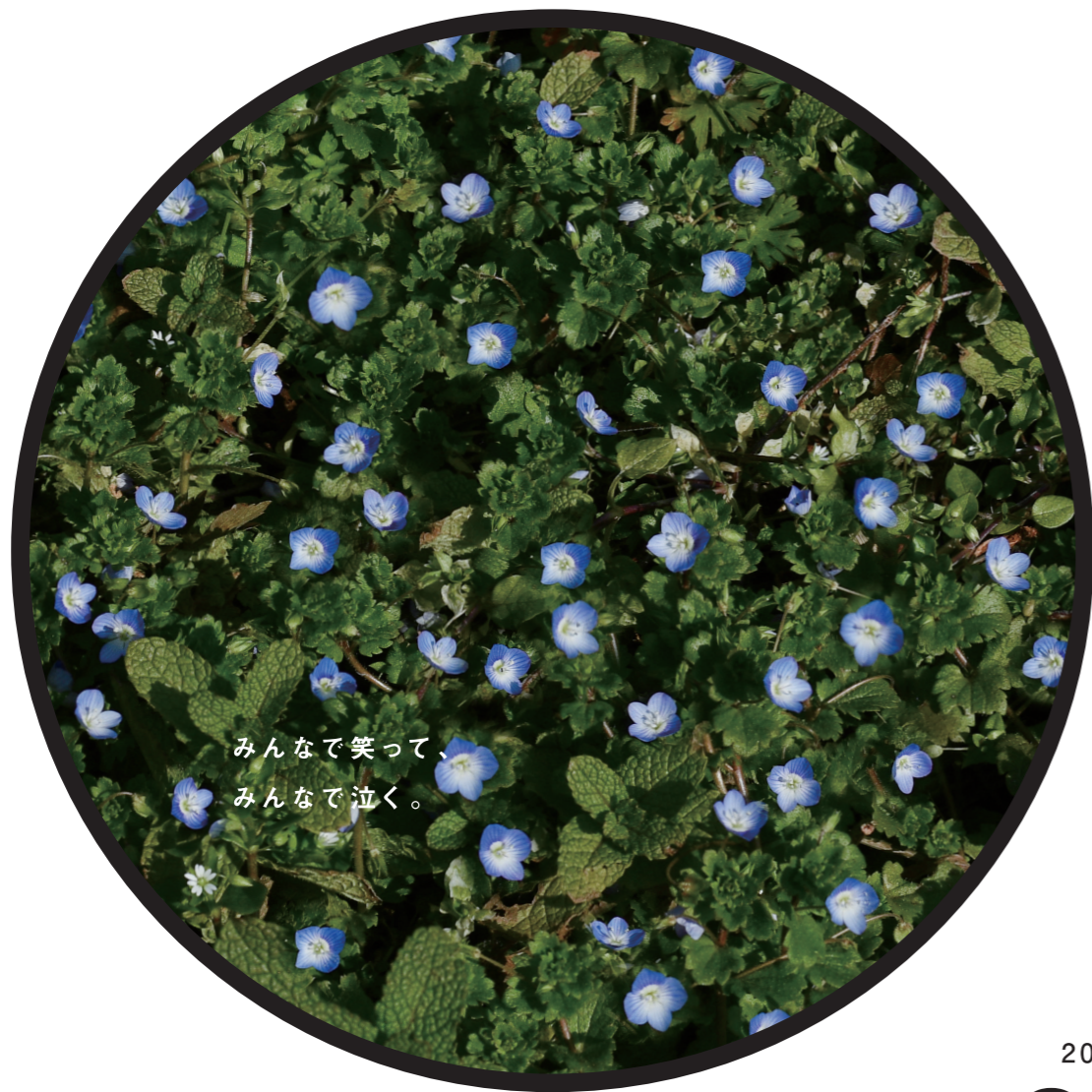


「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くるべ



みんなで笑って、
みんなで泣く。

特集「被災地を支える」

スマイルワーカー 松川深雪さんのお話

活動レポート

写真レポート

2024
03
March

〔編集・発行〕 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和6年3月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

2024
3

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

★新規参加者随時受付中

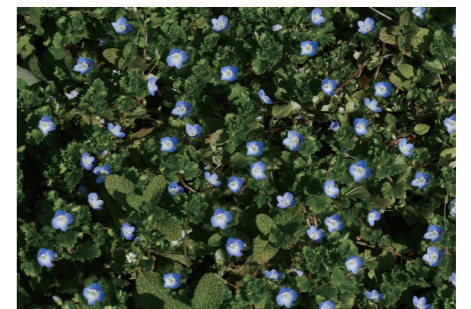
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-----|-------------|------------|-------------|------------|----|
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 1 健康体操B | 2 |
| 3 | 4 | 5 体操 | 6 健康体操B | 7 自力整体 | 8 脳トレ | 9 |
| 10 | 11 | 12 自力整体 | 13 自力整体 | 14 音楽療法 | 15 自力整体 | 16 |
| 17 | 18 | 19 健康体操B | 20 春分の日 | 21 | 22 音楽療法 | 23 |
| 24 | 25 | 26 音楽療法 | 27 音楽療法 | 28 健康体操B | 29 | 30 |
| 31 | 4/1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

- 健康体操B**
炭田 亮子 先生
 - 音楽療法**
畠山 悦子 先生
 - 自力整体**
稲田 清美 先生
 - 体操**
藤田 英子 先生
 - 脳トレ**
くろべ脳トレクラブ
- は休館日
時間/10:00~11:00
対象/65歳以上の方
参加費/300円(入館料のみ)

消防の
豆
知識

救急隊からの電話連絡 「プレアライバルコール」

救急隊が現場で安全、確実、迅速な活動を行うため、また、傷病者を病院へ搬送するまでの時間短縮や救命効果の向上を目的として、状況に応じて通報者や関係者に救急隊員から電話連絡して情報収集をすることがあります。このことを『プレアライバルコール』といいます。救急車は現場に向かってるので、落ち着いて質問に答えましょう。



今月の表紙

一つ一つの花は小さいけれど、たくさん集まれば青くきれいに広がるオオイヌノフグリ。公園やあぜ道で見かけると、春の訪れを感じます。私たちも、一人ひとりでは微力でもみんなでやれば大きな力が生まれます。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

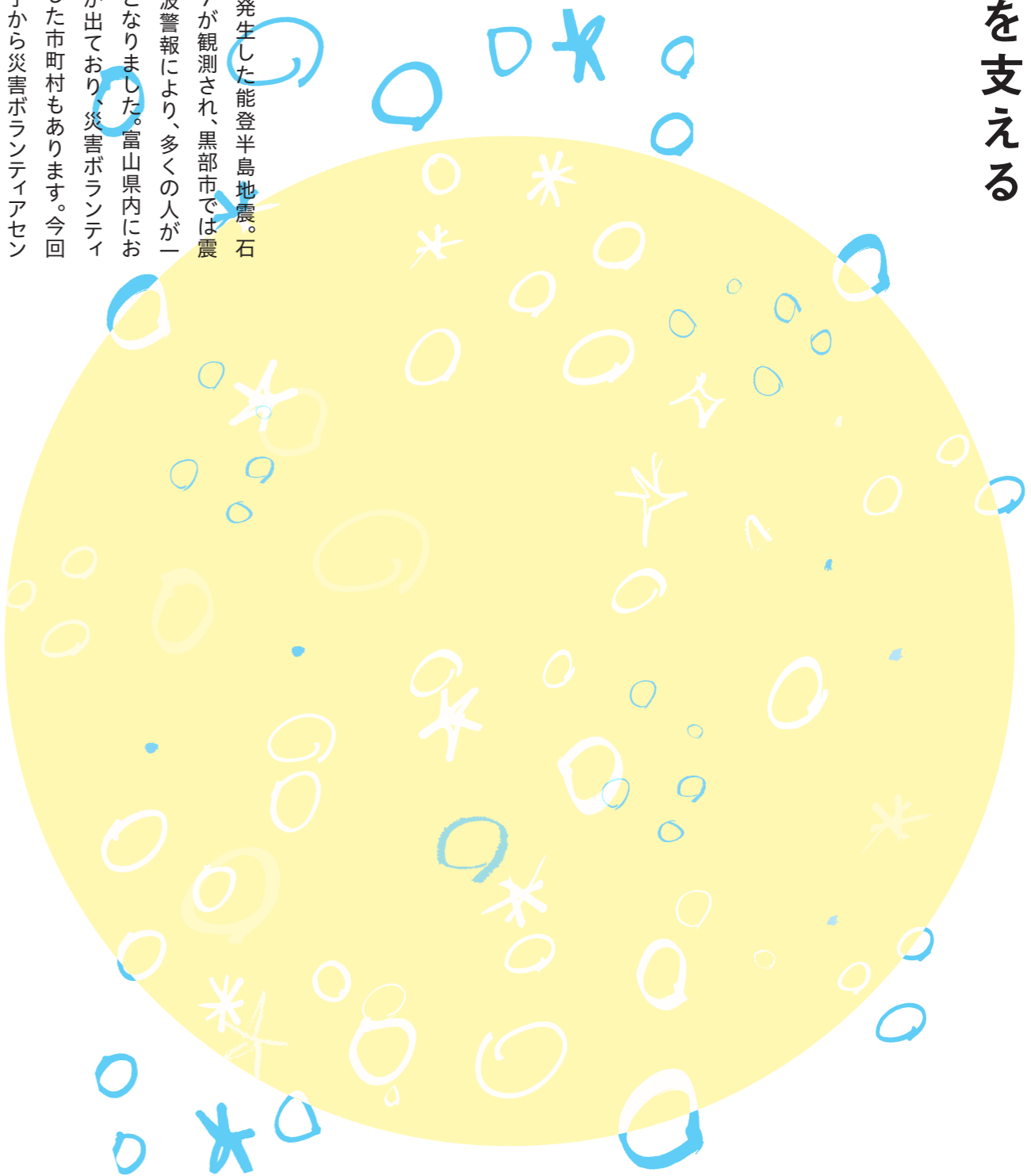
宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市ふれあい福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています



ちよこつと情報 [黒部市の人口] 39,647人 [65歳以上の人口] 12,843人 高齢化率 32.4% R6.1.31現在

今年1月1日に発生した能登半島地震。石川県内で最大震度7が観測され、黒部市では震度5弱の揺れと津波警報により、多くの人が一斉に避難する事態となりました。富山県内においても多くの被害が出ており、災害ボランティアセンターを設置した市町村もあります。今回は1月の県内の様子から災害ボランティアセンターの取り組みについて紹介します。



ボランティアを受け入れる体制をつくる

被災地の復旧・復興のためにはボランティアによる支援活動が大きな力となります。そこで被災者の困りごとなどの情報を集め、現地で活動するボランティアを調整・派遣するのが、災害ボランティアセンターです。この災害ボランティアセンターの設置・運営の中心となるのが社会福祉協議会であり、民間団体として迅速に動く力と社会福祉法人として日頃から築いてきた地域とのつながりを活かして、災害時には行政や関係機関と連携していきます。

被災地の支援に関わって

黒部市社会福祉協議会（以下、黒部市社協という）では、1月6日から1月14日まで氷見市と高岡市の災害ボランティアセンターに職員を派遣して運営の支援に携わりました。

1月7日に氷見市に行った職員は、住民からの困りごとを電話や対面で受けるニーズ調査を担当。7日時点ではボランティアの活動はまだまだ始まっておらず、困りごとを受け付けた後は社協職員が現地に向いて、ボランティアで対応できるか、必要な人数や資材、駐車場所、他に困りごとはないかなどを確認していきました。「ボランティアの力でできるできないに関わらず、とにかく困りごとが全部来るのでどこまでボランティアでやれるのか、氷見市社協の方々もすり合わせるが大変だったと思います。ブロック塀が根こそぎ倒れていて、専門業者への電話がつかないほど依頼が殺到していたそうです」と話します。

1月13日と14日には大型家具の運び出しや割れたガラスの片付けなどの依頼があり、ボランティアの受け入れが始まっていました。受付を済ませた人から留意事項を伝える映像「ボランティア活動の心得」を視聴し、その後の活動場所に誰が行くか運営スタッフと一緒に決めて現場へ。活動を終えたら災害ボランティアセンターに戻って活動を報告します。

ボランティアが無事に活動できているか現場

確認を担当した職員は、「近所の方から『うちも困っていてどこに伝えたらいい?』と聞かれました。依頼した方たちはボランティアさんにごく感謝されていて、被災して怖かっただろうし、大変でどうしようってなりながらも『なんとかなんわ』って前向きな様子でした」と話します。

高岡市の海岸地域では、道路が早くに復旧しましたが、液化化現象で電柱は傾き多くの家屋が被災していました。13日に高岡市に行った職員は、「地元のボランティアさんから『まだ断水している所もあるし、液化化現象で家の前に泥が山積みになっている所や側溝の泥出しが必要な所もある。土のうに詰めていくけどそれでも処理しきれないほどだよ』と聞いて、被害の深刻さを目の当たりにしました。でも地元のみなさんと多くのボランティアさんの力で着実に前に進んでいると思います」と話します。

被災地のためにできること

依頼の中には以前から課題を抱えていた世帯もあり、今回の震災をきっかけに福祉サービスなどの支援につながる人もいました。災害後の片づけ作業をするだけでなく、他に困りごとはないのか、生活を立て直す力はあるの



参加されたボランティアの方々(高岡市)

Q. お仕事に対する思いを教えてください。

ママたちが少しでも息抜きできて会話できる場所になればという思いから、月2～3回、地区の公民館などで教室を開いています。

ベビーマッサージは赤ちゃんの寝つきが良くなったり便秘が和らいだりするなどの効果があり、便秘ぎみの赤ちゃんにはお腹のマッサージを、夜泣きが悩みのママには胸のマッサージで深い呼吸を促すことをお勧めしています。そして一番の効果は、ママやパパの手でマッサージして親子でリラックスできることだと思います。

穏やかな気持ちでママたちに寄り添うことを心がけ、「楽しかった。また参加したい」という言葉に私も元気をもらっています。

スマイル ワーカー



保育士・ベビーマッサージ講師・アロマハンドセラピスト
松川深雪さん
(まつかわ みゆき)



ベビーマッサージ教室&親子サークル
ふわふわり



好きなこと
ヨガ

お知らせ

令和6年能登半島地震 災害義援金について

黒部市共同募金委員会では、令和6年能登半島地震で被災された方々を支援するため義援金を受け付けています。

① 富山県

義援金
受付口座

- 北陸銀行県庁内支店 普通預金 口座番号 4179363
「社会福祉法人富山県共同募金会 災害義援金」
- ゆうちょ銀行 口座番号 00150-9-605602
「富山県共募令和6年能登半島地震災害義援金」

② 中央共同募金会

(石川県、富山県、新潟県、福井県で按分)

義援金
受付口座

- 北陸銀行県庁内支店 普通預金 口座番号 6007213
「社会福祉法人富山県共同募金会 災害義援金」

※現金の場合は、黒部市福祉センターにお持ちください。(平日8:30～17:00)
※石川県、新潟県、福井県への義援金を希望される方は黒部市共同募金委員会へお問い合わせください。 お問い合わせ TEL.(0765)54-1082

お知らせ

元気づくり事業ミニ講座 家庭での防災 ～大切な命を守るには～

能登半島地震の教訓等を踏まえ、日頃から災害への備えについて考えていきます。防災に役立つ非常時の簡易トイレの作り方を学んだり、新聞紙でスリッパを作ってみます。

| | |
|---------|---------------------------------|
| 日時 | 令和6年3月12日(火) 13:30～14:30 |
| 場所 | 黒部市福祉センター 研修室 |
| 講師 | 浦山自治振興会 まちづくり推進員 防災士 岡田千春 氏 |
| 定員 | 20名 |
| 参加費 | 300円 ※入館料のみ |
| 申込・お問合せ | 黒部市社会福祉協議会 TEL.(0765)54-1082 |



昨年の「一斉雪かきDAY」の様子



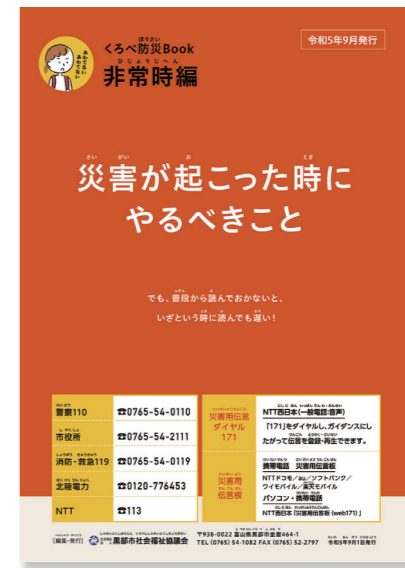
災害ボランティアセンターを運営する社協職員(氷見市)

災害時に備える

黒部市社協では毎年9月に「くろべ防災Book」を発行しており、非常持ち出し品チェックリストや非常備品、各地区の避難場所、災害が起こった時にやるべきことなどを掲載しています。また毎年2月には積雪の多い地域を中心に、「一斉雪かきDAY」を開催しています。これは、除雪活動が困難な世帯や支援が必要な場所に対して、地元住民とボランティアが協力しながら除雪作業を行うものです。また、災害発生時に黒部市社協と市内の企業、団体、

かという視点をもって社協職員は現場に向かっています。震災直後の被災地は余震や倒壊した建物など危険な場所が多く混乱しています。まずは、義援金に協力するなど、現地に行かなくても被災地のためにできることを考えましょう。そして、被災地がどんな物資や支援を必要としているのか、ボランティアを募集しているかなど情報を確認してから行動しましょう。被災地へボランティア活動に行く場合には、前もって居住地に近い社会福祉協議会でボランティア活動保険への加入が必要となります。活動当日はマナーを守ってみんなが気持ちよく活動できるように心がけましょう。

くろべ防災Book「備える編」
こちらからダウンロードできます



行政が協力して災害ボランティアセンターを立ち上げる訓練も兼ねています。今回の経験をもとにハザードマップの確認や防災グッズの点検、地域の防災訓練に参加するなどして災害に備えましょう。

黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/8:30~16:00 入浴/10:30~15:30

3月

2日(土) 10:45~ #なんでもや~歌謡団b

3日(日) 10:00~ ことぶきの会(踊り)

9日(土) 10:30~ 魚津カラオケ友好会

10日(日) 10:30~ 立山相甚会

16日(土) 10:30~ 華の会(歌謡ショー)

17日(日) 10:30~ 生地カルチャークラブ

23日(土) 10:00~ こぶしカラオケ愛好会

24日(日) 10:30~ 歌謡パラダイス、歌謡くらぶ

30日(土) 10:30~ YKK社友会歌謡同好会

休館日 毎週月曜日(4日・11日・18日・25日)
祝日の翌日のため21日は休館日です

4月

6日(土) 10:30~ 祐扇会(カラオケ)

13日(土) 11:00~ 立山相甚会

20日(土) 10:30~ 華の会(歌謡ショー)

休館日 毎週月曜日(1日・8日・15日・22日・29日)

催し物と休館日のご案内

今月のクラブ

ポールウォーキング

- 8日(金) 13:30~15:00
場所:石田交流プラザ(現地集合)
- 22日(金) 13:30~15:00
場所:大布施公民館(現地集合)

囲碁・将棋クラブ

金曜日(1日・8日・15日・22日・29日) 9:00~16:00
場所:黒部市福祉センター 研修室

元気カラオケクラブ

14日(木)・28日(木) 9:00~15:30
場所:黒部市福祉センター 研修室

お知らせ

「5 GOALS for 黒部」のWEBサイトができました!

黒部市で活動している団体を紹介しています。団体の会員募集やイベント報告なども随時更新中です!

WEBサイトは二次元コード
又は「5GOALS 黒部」で検索!



掲載希望も受付中です!



[お問合せ]
黒部市社会福祉協議会 TEL.(0765)54-1082

今月の相談日

弁護士と法律相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
3月19日(火) 13:30~15:30
予約受付3月1日より※先着4名
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
3月11日(月) 10:00~11:30
予約受付3月1日より

活動レポート | 11月28日(火)黒部市国際文化センターコラーレ

大学生による福祉の情報発信

ふくしDXフォーラムの出展団体として参加していた、上智大学学生サークル「wel-bee(ウェルビー)」。WEBマガジンとフリーペーパーを用いて、学生の立場で福祉の魅力をおしゃれに発信しています。自分たちで企画立案、取材、編集、発行までを手掛け、フリーペーパーは関東の大学や社会福祉協議会などに設置されています。その取り組みは学生フリーペーパーの祭典で審査員特別賞として評価されました。

「私たちの周りにはいろんな人がいて、いろんな関わり方があるので福祉はすごく身近なこと自分ごととして感じてもらいたいです」と話し、「福祉をみんなごとへ」をコンセプトに発信し続けています。

WEBマガジンは
こちらから



実際のWEBマガジンとフリーペーパー



参加者に活動を紹介

写真レポート



素敵な時間を楽しむパスタランチ

12月14日(木) / 浦山交流センター

浦山地区在住の八木徹さんが講師を務め、たっぷりトマトソースのパスタ、シーザーサラダ、オレンジとグレープフルーツのマリネの3品を作りました。参加者からは「材料の切り方が勉強になった」との声が聞かれ、八木さんは「家庭でも作っていただきたい」と話されました。



一人暮らしの方へお花をお届け

11月30日(木) / 荻生地区

荻生地区社会福祉協議会は、毎年一人暮らし高齢者の方に年末のお花をプレゼントしています。今年は富山県立入善高校農業科の皆さんが丹精込めて育てたシクラメンの鉢植えをお渡ししました。届けた民生委員児童委員も高齢者の方のうれしそうな笑顔と感謝の言葉にほっこりしました。